

## 秋田キャラバン

佐塚 寛

静岡県・四八・高校教員

爽やかな秋の空が高く広がり、りんとした冷氣の中に柿の朱色が映えています。

良枝さん、お元気ですか。この夏、NHKの昼の番組で二ツ井町が紹介されていました。二ツ井という言葉の響きが懐かしく、番組に見入ってしまいました。私達が秋田県北地方を訪れたのはもう二七年も前のこと。大学のサークル活動で八人の仲間が集まり、人形劇や影絵を携えて能代から鷹巣<sup>たかのす</sup>までを巡回しましたね。夏のさ中、鉄パイプ製の組み立て舞台をかついで移動するのは本当に大変でした。

私はあなたが好きでした。あなたも私が好きだと言ってハガキ五枚に思いを綴ってくれたのは、一年次の後期試験の直前でしたね。色鉛筆で可愛いカットを散りばめたステキなラブレターは、今でも私の大切な宝物です。

そのあなたが、幼な馴染みの「友」がいて、彼と私とどちらか一人に決められないの、と言い出した時は、私はあなたの気持ちをどう受けとめたら良いのかわからずオ

ロオロしてしまいました。だから秋田キャラバンに参加することは二人にとって大きな決断でした。

八月三日（火）。乳井さん宅で爽やかに目覚め。午前は富根保育園、午後は切石小学校で子供会。夏休みでランドウの体育館に一五〇名以上の元気な子らが集まった。影絵「八郎」は熱演だった。切石温泉で汗を流す。

八月四日（水）。荷上場の公民館で子供会。昼からはみんなで橋を渡り、汽車に手を振って、白百合の咲くきみまち阪公園へ。野外ゲームを存分に楽しんで、夜は一区で子供会。

日記を繙<sup>ひもと</sup>くと、明るく元気に子供と接するあなたの姿がまぶしく思い浮かびます。私はありのままのあなたを受け入れようと思うようになりました。その後あなたは福祉の道へ、私は教育の道に進みました。あなたのことだから毎日明るく頑張っていることでしょう。

そうそう、私は大学四年の秋、あなたの母校札幌の女子校で教育実習をしました。そんな想い、あなたにはどう映っていたのかな。